

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】(ユニット1)

| | | | |
|---------|--------------------|------------|----------|
| 事業所番号 | 0170200885 | | |
| 法人名 | 有限会社 エイチ・ティ・エス | | |
| 事業所名 | グループホームハーモニー | | |
| 所在地 | 札幌市北区新琴似6条14丁目8-23 | | |
| 自己評価作成日 | 令和元年9月15日 | 評価結果市町村受理日 | 令和2年3月5日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

| | |
|-------------|--|
| 基本情報リンク先URL | www.kaigokensaku.mhlw.go.jp |
|-------------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-----------------------------|
| 評価機関名 | 企業組合グループ・ダイナミックス総合研究所 介保調査部 |
| 所在地 | 札幌市手稲区手稲本町二条三丁目4番7号ハタナカビル1階 |
| 訪問調査日 | 令和元年11月13日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様一人一人が生き生きと、安全、笑顔で生活が出来るよう個々にあった対応で支援し、職員も日々の生活の中で共に楽しみながら心の通う介護支援に努めています。スタッフ間のチームワークも良く、お互いに協力し、支え合い取り組んでいます。より良いサービス提供を行う為、ホームでのミーティング会議、内外の研修、勉強会を行い資質向上に努めています。町内の行事に参加したりと、地域との交流を大切にし深めています。 協力医療機関との24時間の連携と協力体制のもと、ご利用者様、ご家族が安心して過ごして頂けるよう体制を整えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、札幌市北区新琴似に位置し、西野屯田通り沿いの住宅地にある2階建て2ユニットのグループホームである。近隣には、コンビニエンスストアや飲食店などの店舗もあり利便性が高い地区である。法人は、介護保険制度が始まった翌年の2001年に設立し、認知症高齢者のグループホーム2カ所と共用型デイサービス、小規模多機能ホームも2カ所運営するなど札幌市を中心に留萌地区にも事業所があり、他にヨーグルト食品の開発やイベントの企画運営なども手掛けている。ホーム内は1ユニット6人の2ユニットで共用型デイサービスを併設しており、今後増床も検討している。開設当初は、北33条の新道沿いであったが当地区に移転して8年目を迎え、事業所の理念は、「人にやさしく」として個人の尊重・笑顔・日々楽しくとあり、ユニット間の職員の交流が多く、地域の支援もあり明るい感じのホームである。日々気付いたその場でカンファレンスをして実行するなどケアに徹底して取り組んでおり、認知症高齢者の事業所としてこれからも期待したい。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

| 項目 | 取組の成果 | | 項目 | 取組の成果 | |
|---|-----------------------|--|--|-----------------------|---|
| | ↓該当するものに○印 | | | ↓該当するものに○印 | |
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25) | <input type="radio"/> | 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんどつかんでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19) | <input type="radio"/> | 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない |
| 57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38) | <input type="radio"/> | 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20) | <input type="radio"/> | 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | <input type="radio"/> | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | <input type="radio"/> | 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37) | <input type="radio"/> | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11、12) | <input type="radio"/> | 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | <input type="radio"/> | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30、31) | <input type="radio"/> | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> | 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | <input type="radio"/> | 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | | | |

自己評価及び外部評価結果

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 運営理念は、職員が常に目に入る所に掲示し確認、理解し努めています。 | 理念は、法人の理念と事業所の理念があり、事業所内に掲示し周知に努めている。毎年3月に行う役員による個人面談で理念の暗唱があるなど職員間で共有し、実践につなげている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 町内会の行事に参加させて頂いている。ホーム玄関前には、ウェルカムボードを置き、随時見学や介護相談受け付けていることを掲げている。 | 町内会行事の新年会やブドウ狩り、食事会などに参加しており、また町内会へ施設の見学会も行うなど日頃から地域との交流を行っている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進会議を通して、参加して頂いたご家族や町内会の方に行っている。介護相談や認知症についての説明、施設見学等行っている。 | | |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議では、事業所での取り組みや状況の報告、意見交換を行っている。意見交換の中で頂いた意見から反映し事業所サービス向上に努めている。 | 運営推進会議は、家族や町内会役員、地域包括支援センター担当者などが参加して、定期的で開催し、運営状況の報告や情報交換、意見交換を行いサービス向上に活かしている。 | |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 市・区の担当者と常に情報交換しサービス向上に努めている。 | 北ブロック連絡会議が年6回あり参加して連携している。また、区保護課は年2回訪問があり情報交換しており、地域包括支援センター担当者とは運営推進会議で定期的に意見交換して協力関係を築くよう取り組んでいる。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 行動制限がないよう日頃から見守り、安全確保している。身体拘束についての研修を行っている。拘束がないより良いケアについて考え取り組んでいる。 | 事業所内に身体拘束防止委員会を設置して、3ヶ月毎に検討会を行っている。また、外部研修に定期的に参加して、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 勉強会のテーマに挙げ理解を得るために研修し取り組んでいる。職員間でのコミュニケーションを多く持ち思い悩んだり、一人で抱え込まないよう環境づくりに努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 勉強会や研修会に参加し、学ぶ機会を増やす。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居契約時に重要事項説明書・契約書を読み説明を行っている。疑問や質問があれば理解して頂けるよう説明している。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 意見箱の設置や、面会時に意見を頂いたり、運営推進会議でも意見や要望を頂き反映させていけるよう努めている。 | ホーム便りは、毎月発行して家族へ運営状況の報告をしている。また、気になる場合は、個別に手紙を書いて報告している。玄関に意見箱を設置しているが、家族の訪問時に意見や要望を殆ど聞き取り運営に反映している。 | |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 月1回のミーティングの際に話し合いを持ち、希望や提案を出していただいている。休憩時や職員との話しの中でも何かあれば随時意見や提案を受け反映させていけるよう努めている。 | 全体ミーティングが月1回開催しており、管理者・リーダー会議は3ヶ月に1回行っている。また、緊急カンファレンスがあり、その時その場で実施している。個人面談は春頃に定期的実施しており、職員からの意見や提案は運営に反映している。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 休日希望や、勤務希望時間、自主的な研修参加の希望など、施設職員個人の意見や希望を取り入れている。管理者に、随時要望や職務に対する意向、悩みなどが相談できる職場雰囲気ができている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 日常的に意見や疑問などが交換でき、外部研修の情報を職員に提供し、自主的に参加できるようにしている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている | 研修会、交流会などに参加しサービスの質の向上に取り組んでいる。 | | |
| II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居時には新しい環境に不安や混乱を招くご利用者が多いので、サポート支援に努め信頼関係構築を図っている。要望等に耳を傾け、安心してもらえるよう努めている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居申し込み時や手続きの際には、ご家族が困っていることや不安に思っていることはないか必ずお聞きしている。入居前後には、連絡を取り関係づくりに努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入居契約前、契約時に家族と話し合う時間を作り要望・希望などを聞くようにしている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 共に生活を営むことを常に考えながら日々過ごしている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 入居者様に関わる事を職員だけでなく、ご家族と相談しながら、ご本人様の思いや気持ちを大切にしている。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご家族以外にも友人や知人、その他の方にも気軽に立ち寄れる様な環境作りを行っている。 | 家族や親戚、友人などの訪問がある。近隣の美容室やコンビニに買い物など職員が同行して行っている。また、気功教室やお好み焼き店なども定期的に同行するなど関係継続支援に努めている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | ホールで座る位置等を考え利用者同士で会話ができる様配慮している。状況に応じて、職員が間に入るなどし孤立しないよう努めている。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 契約が終了してもご家族が相談しやすいような雰囲気、なじみの関係を継続できるよう努めている。 | | |
| Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 生活歴を考慮し、ADL、その時の表情などから思いや意向を汲み取り本人らしさが持てるよう支援している。 | 日常生活の中で思いや意向の把握に努めている。また、医師の指示を得ながら、その人の思い通りに生活できるよう支援している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 今までの暮らし方を本人や家族に聞いて、生活歴の把握に努めている。過去の職業や趣味などがホームでの活動に繋げていけるよう検討している。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 利用者個々の生活リズムを把握し、体調管理に努めている。毎日の申し送り時には、心身状態の変化、日々の気づきを引き継ぎ情報共有している。 | | |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ミーティングでは、職員全員で利用者一人一人のケアについて意見交換をし、それを介護計画に反映させている。 | 毎月の全体ミーティングで、利用者一人ひとりについて、本人や家族の意見や要望、主治医や看護師の指示も含めて、職員全員で検討して、集約し現状に即した介護計画を作成している。見直しは6ヶ月毎に行っている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個人の情報を記録した介護日誌、経過記録を活用し、個人の体調や心身の変化について検討し必要時には介護計画の見直しを行っている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ミーティングの機会に支援方法について話し合っている。日々、個々に合わせ臨機応変にその時の状況や思いに合った支援を心掛けている。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ご本人様の望むことを優先し、地域に根付くよう支援している。 | | |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 普段の状態を記録し医師に報告できるようにしている。何かあればすぐに医師に相談、必要時には緊急で往診対応して頂いている。月2回の往診対応を行っている。 | 協力医療機関は、月2回の往診と緊急時は随時往診がある。歯科医師も月2回の往診で、皮膚科は月1回の往診である。看護師は本社から週1回の訪問で、24時間体制で適切な医療を受けられるよう支援している。 | |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 健康状況の確認の中で、アドバイスや相談を行っている。変化時には24時間連絡可能な協力医療機関も確保しており、いつでも相談できる状況である。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|---|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時には情報提供を行い。入院から退院に至るまでの間、面会時や電話で医療機関の相談員との情報交換に努め、本人が安心して戻ってこれよう支援している。 | | |
| 33 | 12 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる | 管理者が重度化した場合の対応に係る指針と事業者が対応できるケアについて家族に説明し同意を得ている。本人の身体状況を来訪時に家族に伝えている、職員間での相互協力も意識している。 | 重度化や終末期については、入居契約時に説明し同意を得ている。重度化した時には、カンファレンスを行って、マニュアルに基づき、家族の意向に沿って対応するよう支援に取り組んでいる。 | 重度化した場合は、マニュアルに基づいて対応しているが、看取りの研修会などに参加したり、内部で事例の研修を行うなどして学ぶことを期待する。 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 急変が予想される場合の対応や事故発生時についての話し合いやマニュアル化、研修は行っているが、訓練まで出来ていない。 | | |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | ホーム内で日中・夜間帯での火事・地震を想定した避難訓練を定期的実施している。また、運営推進委員会にて避難訓練の報告を行っている。 | 火災や地震の避難訓練を消防署の指導の下、年2回定期的実施している。備蓄や備品も整備し、地域の協力も得ながら災害対策を行っている。 | |

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

| | | | | | |
|----|----|--|--|--|--|
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | スタッフ全員が、プライバシーに配慮した言葉かけ等心掛け支援している。 | 人格の尊重とプライバシーについては、接遇マナーの研修会を定期的実施しており、プライバシーに配慮した対応を職員が心掛けている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ご本人様の自由な行動を優先し、要望に応えられるように努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している | 起床時間や食事の時間、入浴時間などご本人様のペースを大事にしている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 好みやセンスに合わせご本人様と共に選んだり、季節感に配慮できるように声掛けを行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|--|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 入居者様と共に食事の準備や後片付けをしたり、バランスを考慮し盛り付けや形状に工夫し食事が楽しめるよう努めている。 | 料理は職員が担当しているが、土日祭日は料理専門の担当により行事食を提供している。敬老会では、ハーモニー割烹と謳い料亭風な料理を提供するなど趣向を凝らしている。利用者はもやしのひげ取りや片付けなど手伝っている。外食は回転寿司やそば屋などへ行っている。 | 料理のメニューは、趣向を凝らして多彩に取り組んでいるが、職員も含めて「みんなで食事のコミュニケーション」の実践をすることを期待する。 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人一人日々の水分、食事量を把握し記録へ記載している。食事量、食事形態は個人に合わせ提供している。トロミ食の方はその方に合ったトロミ加減に気を付け対応している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 義歯洗浄、歯磨き等個人に合わせた口腔ケアを行っている。口腔ケアの勉強会を行い、義歯扱い方や介助方法を学び、支援に努めている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 排泄状況を確認できる表を使用し、個々にあった排泄支援をしている。 | 介助が必要な利用者のみ排泄のパターンを記録簿から把握し、職員間で共有して、個々に沿ってトイレでの自立した排泄に向けた支援をしている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 歩行運動や食事では便通に良い食材や食品を取り入れ工夫し対応を行っている。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている | 一人一人の状況に合わせてゆっくりとリラックスして頂けるよう心掛けている。拒否がある場合は、声掛けや時間帯をずらす等職員間で工夫し支援している。 | 入浴は週2回で、1Fのユニットは、曜日や時間は決めていないが、2Fのユニットは決めているが、利用者の状況により個々に沿った支援をしている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | しっかりと入眠出来るよう支援し、昼夜逆転にならない程度の休息が取れるよう支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 往診、受診時には、職員が立ち会い薬について説明を受け、他の職員と情報共有できるように記録に残し内容を確認、把握している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 生活している姿からアドバイスや自分たちで役割を見つけ、継続できるよう支援している。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | ご本人様やご家族が希望した時、体調等考慮しながら職員間で連携をとり希望に沿った外出が行えるよう支援している。 | 日常的に近隣の散歩や外気浴を行っている。外出行事は、町内会のブドウ狩りや平岡公園、回転寿司やそば屋、喫茶店など利用者の希望の外出を支援している。 | 利用者の希望で外出を支援しているが、家族と一緒に季節を感じる外出など、アンケート調査や運営推進会議で家族の意向を聞き、計画的な外出行事の企画を検討するよう期待する。 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご本人様が希望して、管理が可能であれば所持できるよう配慮している。困難な方はご家族と協議を行う。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | いつでも電話や手紙のやり取りができるよう支援している。 | | |
| 52 | 19 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 自由に居室やホールの出入りができるようにしている。必要に応じて席替えも行っている。 | 共用空間は、季節の飾り物や楽しかった行事の写真なども掲示しており、窓からの陽射しも明るく、風通しもよく、清潔感のある室内で、リビングでは利用者が寛いで過ごしている。1Fには避難口もあり、緊急時に活用できる。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 自分だけの時間を過ごせるように工夫している。 | | |
| 54 | 20 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご自宅で使用していた家具類の持ち込みを行い、今までの環境を保てるように工夫している。 | 居室には、一間の収納スペースがあり、特殊寝台も希望者には提供している。利用者は、使い慣れた家具や馴染みの物を持参して、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | ご利用者が移動しやすい様手すりや、空間に配慮している。居室に名札を付ける等工夫をしている。 | | |

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】(ユニット1)

Table with 2 columns: Field Name (e.g., 事業所番号, 法人名) and Value (e.g., 0170200885, 有限会社 エイチ・ティ・エス).

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL and www.kaigokensaku.mhlw.go.jp

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 2 columns: Field Name (e.g., 評価機関名, 所在地) and Value (e.g., 企業組合グループ・ダイナミックス総合研究所 介保調査部).

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様一人一人が生き生きと、安全、笑顔で生活が出来るよう個々にあった対応で支援し、職員も日々の生活の中で共に楽しみながら心の通う介護支援に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、札幌市北区新琴似に位置し、西野屯田通り沿いの住宅地にある2階建て2ユニットのグループホームである。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: Item No., Item Description, Achievement Criteria (1-4), and Evaluation Results (radio buttons).